

有明工業高等専門学校		開講年度	平成31年度 (2019年度)		授業科目	日本建築史	
科目基礎情報							
科目番号	0009		科目区分	専門 / 必修			
授業形態	授業		単位の種別と単位数	履修単位: 1			
開設学科	創造工学科(建築コース)		対象学年	3			
開設期	後期		週時間数	後期:1			
教科書/教材	日本建築史図集; 日本建築学会編/彰国社		配付プリント				
担当教員	松岡 高弘						
到達目標							
1. 寺院建築の平面・構造・架構技術等を代表的な建築を通して理解し、各時代の特徴と時代間の変化を説明できる。 2. 神社建築の各造りの平面・構造等の特徴を説明できる。 3. 寝殿造から書院造への住宅の変化を説明できる。 4. 上記以外の建築の特徴を説明できる。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安		
評価項目1	寺院建築の特徴を説明でき、時代間の相違を説明できる。		寺院建築の特徴を説明できる。		寺院建築の特徴を説明できない。		
評価項目2	神社建築の特徴を説明でき、寺院建築と神社建築の相違を説明できる。		神社建築の特徴を説明できる。		神社建築の特徴を説明できない。		
評価項目3	寝殿造から書院造への住宅の変化を詳細に説明できる。		寝殿造から書院造への住宅の変化を説明できる。		寝殿造から書院造への住宅の変化を説明できない。		
評価項目4	上記以外の建築の特徴を詳細に説明できる。		上記以外の建築の特徴を説明できる。		上記以外の建築の特徴を説明できない。		
学科の到達目標項目との関係							
学習・教育到達度目標 B-1							
教育方法等							
概要	建築史を学ぶ目的は、各時代の建築が形成された要因を把握して、現在の自らの立場を客観的に明らかにし、建築の多様な特質を知ること、次の時代における発展の手掛かりを得ることにある。日本建築史では古代・中世・近世の寺院建築・神社建築・住宅等を対象とし、各時代の建築の特徴と時代の違いによる建築の違いを理解し、その変化の意味を説明できることを目標とする。						
授業の進め方・方法	配付プリントと教科書を用いて講義を行う。配付プリント記載の問題について各自まとめておくこと。定期試験70%、2つのレポート30%で成績を評価する。						
注意点	必ず、予習をして授業に臨むこと。2つのレポートは、冬季休業時の読書課題および課題レポートであり、理解した内容を自分の言葉を用いて表現し、図や写真等を用いて解りやすくまとめているかを評価する。						
授業計画							
		週	授業内容	週ごとの到達目標			
後期	3rdQ	1週	古代の寺院建築 (1)	飛鳥時代の寺院建築の特徴を説明できる。			
		2週	古代の寺院建築 (2)	奈良時代の寺院建築の特徴を説明できる。			
		3週	古代の寺院建築 (3)	平安時代の寺院建築の特徴を説明できる。			
		4週	中世の寺院建築 (1)	大仏様と禅宗様の特徴を説明できる。			
		5週	中世の寺院建築 (2)	中世の本堂形式の寺院建築の特徴を説明できる。			
		6週	古代・中世の神社建築	古代・中世の神社建築の特徴を説明できる。			
		7週	近世の社寺建築	近世の社寺建築の特徴を説明できる。			
		8週	中間試験				
	4thQ	9週	住宅建築 (1)	古代の住宅の特徴を説明できる。			
		10週	住宅建築 (2)	中世の住宅の特徴を説明できる。			
		11週	住宅建築 (3)	書院造の特徴を説明できる。			
		12週	草庵風茶室と数寄屋風書院	草庵風茶室と数寄屋風書院の特徴を説明できる。			
		13週	民家	農家と町家の特徴を説明できる。			
		14週	城郭建築	近世の天守閣の特徴を説明できる。			
		15週	期末試験				
		16週	テスト返却と解説				
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週		
専門的能力	分野別の専門工学	建築系分野	計画・歴史	原始(例えば、竪穴住居、高床建築、集落など)の特徴について説明できる。	4	後9	
				古代(例えば、住宅建築、寝殿造、都市計画、神社建築、寺院建築など)の特徴について説明できる。	4	後1,後2,後3,後6,後9	
				中世(例えば、住宅建築、神社建築、寺院建築(大仏様、禅宗様、折衷様など))の特徴について説明できる。	4	後4,後5,後6,後10	
				近世(例えば、住宅建築、書院造、数寄屋風書院、町屋、農家、茶室、霊廟、社寺建築、城郭)の特徴について説明できる。	4	後6,後7,後11,後12,後13,後14	
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	70	0	0	0	30	0	100
基礎的能力	0	0	0	0	0	0	0

專門的能力	70	0	0	0	30	0	100
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0